

第23回「道の駅花の三聖苑」について その3

道の駅の直売所については、町内のさまざまな分野で活躍している皆さまに、ワーキンググループ（以下WG）メンバーとなっていただき、回を重ねるごといろいろな提案がなされ充実されつつあります。

WGからは販売スペースの見直しや、利用頻度の少ない作業棟を撤去し、直売所内にその機能を設け、資材搬入などが安全にできるようバックヤード通路の見直しを行い、位置の修正が提案され検討しています。また、園地内へのバス待合所の設置を取りやめ、園地をドライバーの休憩や町民の憩いゾーンにして利活用したいと考えております。

また、販売手数料も15%を限度と修正し、松崎町の農林産物や加工品、海産物、松崎ブランド、姉妹都市の物産などの取り扱いや、天城山房のメニューの見直しについても今後、検討することになっております。町内で生産された食材をおいしく加工し、松崎の食文化を広く発信できるよう努力してまいります。特に、花の三聖苑は依田勉三翁をはじめ、松崎発展に尽力した三聖を称える施設です。有名な帯広市の六花亭のお菓子などを、季節ごとのイベントなどで販売できるよう交渉を開始し、成功すれば、全国他にはない道の駅の魅力化に大きくつながることになると思います。

まちづくりは理想を語るのではなく、現実を直視し問題点を解決（高齢者など移動に不自由な方のため、買い物等支援タクシーの拡充など）していくことが重要であり、それこそが私に課せられた大きな任務と考えております。